

2020年6月8日

全車両の抗ウイルス・抗菌加工の実施について

近鉄では、お客さまにより安心して鉄道をご利用いただくために、全車両を対象として車内全体に、効果が持続する抗ウイルス・抗菌加工を実施いたします。

詳細は、以下のとおりです。

1. 対象 全車両（1938両 ケーブルカー・ロープウェイ含む）

2. 工期 6月下旬～9月末（予定）

※報道関係者への取材のご案内は6月下旬ごろを予定しています。

3. 内容 特定のウイルスや細菌を持続的に減少・抑制させる無機溶剤を、車内でお客さまが手を触れられる箇所（つり革、手すり、シートなど）をはじめ、全体に噴霧することによりコーティング加工します。

4. 確認されている効果

（1）抗ウイルス作用

- ・インフルエンザウイルス（エンベロープあり）
- ・ネコカリシウイルス（ノロウイルス代替）

【上記2ウイルス株は、ISO21702抗ウイルス試験法で使用されたウイルス株です】

（2）抗菌作用

- ・大腸菌
- ・黄色ブドウ球菌

【上記2菌種は、ISO22196抗菌試験法で使用された菌種です】

■S I A Aマークの取得

本抗ウイルス・抗菌加工はS I A Aの安全性基準に適合しており、S I A Aマークを取得すべく申請中です。なお、鉄道車両でS I A Aマークを表示するのは、初めてとなります。

※S I A Aとは

S I A A（一般社団法人 抗菌製品技術協議会）は、経済産業省のガイドラインに則って運営され、適正で安心できる抗ウイルス・抗菌・防カビ加工製品の普及を目的とし、メーカー、試験機関が集まってできた団体です。S I A Aマークは、S I A Aガイドラインで品質管理、情報公開された製品に表示されています。